

ネットなかがわNEWS VOL.16

住所：福岡県那珂川市片縄西4丁目6-7 TEL&FAX:(092)954-0224 E-mail:nakagawa@fnet.gr.jp

那珂川市議会議員
伊藤ともこ



ふくおか市民政治ネットワーク那珂川

検索

やっぱり生活って政治！

不登校は悪くない！ でも知っておきたい、心の居場所と学びの大切さ

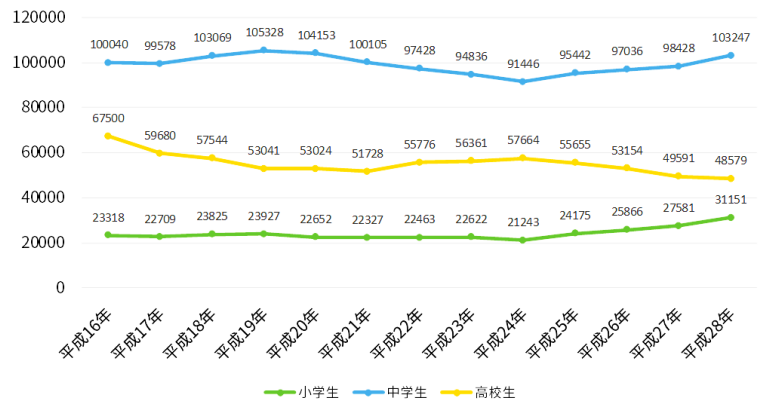


多くの方が1度は「学校に行きたくない」「休みたい」と思ったことはありませんか？

文部科学省の調査によると、2016年度の不登校の小中学生は13万4398人。そのうち小学生は3万1151人と、統計史上初めて3万人を超えました。また90日以上と長期間学校を休んでいる子どもは7万2000人あまりと、全体の6割近くに上っています。

那珂川市でも不登校や不登校の兆候の子ども達が増加しています。(裏面記載) 那珂川市独自の「児童・生徒指導支援員配置事業」で、支援員をしている方にお話を伺いました。

小中高生の不登校児童生徒数



(出典) 平成29年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(速報値)について
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/10/_icsFiles/afieldfile/2017/10/26/1397646_002.pdf

不登校の理由はさまざま

不登校の理由は様々です。那珂川市の場合は、家庭の生活環境の急激な変化が一番大きな要因になっており、中学生になると、いじめを除く友人関係で些細な喧嘩や性格の不一致から「学校に行かない」に繋がっているそうです。

那珂川市の不登校対応に対応するための取り組みとして

- ①不登校等専任教員3名(各中学校1名)配置 <2013年～>
 - ・中学校内に設置されたサポートルーム(居場所)の運営
- ②児童・生徒指導支援員4名(各中学校1~2名)配置 <2007年～>
 - ・県のモデル事業として始まり、今も那珂川市の事業として継続
 - ・地域や子ども達と密接に関わりを持っている方が専任されている



家庭環境の変化

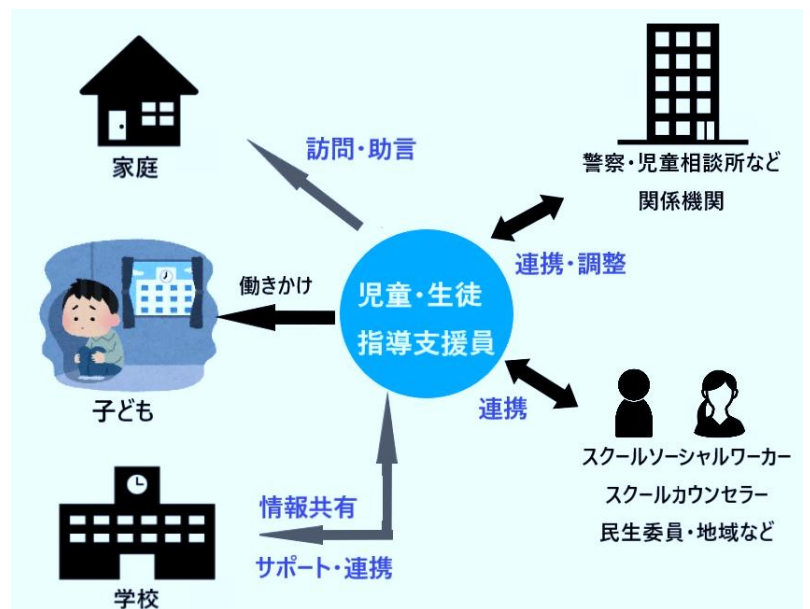


友人関係

児童・生徒指導支援員を知っていますか？

不登校につながる子どもの問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応を行うことを目的としています。登校支援、家庭環境の改善支援(親と対話し、問題解決の道を探るなど)、関係機関へ繋ぐ(スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど)、子ども達の状況に合わせて対応をしています。成果として、平成29年度は約90人が不登校の状態から解消・改善に向かっています。

「目標は子ども達が社会性を身につけること」と話されていました。地域には、子ども達を見守り一緒に育ててくれる方がたくさんいます。今一度、私たちのまちにどんな支援があるか関心を持ってみませんか？



ドキュメンタリー映画

「遺伝子組み換えルーレット」
〜私たちの生命のギャンブル〜

鑑賞して

遺伝子組み換え食品を食べることによる影響が、自分の思っていた以上に幅が広いことに驚きました。

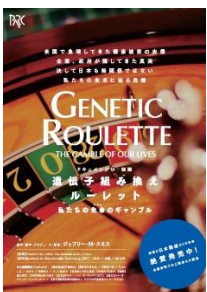
特にガンやアレルギー、生殖機能にも影響を及ぼすことは何となく知っていましたが、実際にマウスの実験結果を受けてとても深刻なものだと改めて感じました。

自分自身、無事に出産できたことは、親が食事に気を付けてくれていたお陰だと再確認できました。もし遺伝子組み換え食品ばかり我が子に食べさせていたら、将来不妊に悩むかもしれない、そうなれば私の責任になると思いました。

遺伝子組み換え食品をなくすために、今私に出来ることは買わないことです。今日使った食材は何も表示がないので「これはひよことして遺伝子組み換え食品かもしれない」と疑いました。

遺伝子組み換えをしていない食品すべてにマークを付けてほしい。そしていつか遺伝子組み換えしていない食品ばかりの世の中になんてほしいと強く思いました。

二十代 三児のママ



定期的に鑑賞会をしています。
日本は世界1位の遺伝子組み換え食品消費国です。
遺伝子組み換え作物が及ぼす影響について、一緒に考えませんか？